

## 第5回地域連携手帳委員会議事録

日時 平成24年12月20日 (木) 13時30分～  
会場 新潟市秋葉区役所 401号室

### 1 地域連携手帳の内容に関する検討

#### ①歯科部分の見直し案

- ・別添資料案及び当日資料差し替え分

歯(2)の左部分については訪問看護および介護の方々を使いやすいようにした。  
目標があり使いやすいということで差し替え用紙を採用。

#### ②薬剤・生活記録に服薬状況欄を追加する案

いろいろな面で状況が変化してきている。薬剤師会でよく検討し決めていきたい。

#### ③個人情報保護について

- ・他の用途への利用を禁止する文言を同意書の中に組み込むこととした。  
次回の会合で提案する。

### 2 発展的な内容の検討

#### ①栄養管理のための利用

##### 別紙様式

介護の現場ではここまで細かな検査値は必要なし。

訪問看護では検査値は重要な意味がある。

地域包括などは栄養についての注意点が重要。

書くことにはかなりの労力が必要。書いたものが役立つことが何よりも重要。

以上の意見を取り纏めて再検討する。

#### ②認知症の連携

- ・別紙「相談ノート」の使い方を参照

早期発見に繋がるのか。受診などで役立つ場面が有るのか。

次回までの宿題とする。

### 3 第10回地域連携協議会

- ・連携手帳に関するアンケート調査

使いやすくなったなどの意見がある反面、存在すら知らなかった。

運営主体がわからないなどの意見もたくさんいただいた。

- ・PR不足か。乙訓のような紹介冊子も必要か。

- ・患者が病院に持っていく。訪問看護で使用する。このあたりがまだ弱い。

ポスターも作成したところだが・・・。ともかく運用を推進することが大切。

### 4 その他

- ・次回は2月28日 秋葉区役所 **5階会議室**

以上

第5回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

平成24年12月20日

1. 地域連携手帳の内容に関する検討

- ① 歯科情報：様式3-1, 3-2；記入欄の拡大を希望（歯科提案）  
利用の促進をはかる
- ② 生活記録：様式6-1；服薬状況欄の追加（薬剤師会で提案）
- ③ 個人情報保護に関して  
手帳の内容を医療・介護者がみだりに閲覧し、他の用途への  
利用をはかったりすることを禁止する文言

2. 発展的な内容の検討

- ① 栄養管理のために利用；栄養サマリーを掲載
- ② 認知症の連携

3. 第十回地域連携協議会

連携手帳に関するアンケート結果と課題

4. その他

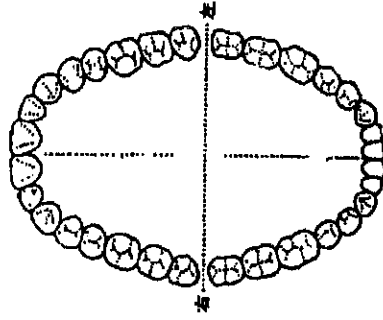
次回、2月28日（木）

歯科治療記録要領

- ・初診時口腔内所見には現症を記入。
- ・治療内容には治療日ごとに処置を記入。
- ・記入には、以下の略号を使用することができる。

<b>診断名</b>	
・C-むし歯	・C4-残根
・P-歯周病	・X-欠損
	・Pul-歯髓
	・Per-根尖性歯周炎
<b>治療用語</b>	
・レ-レジン充填	・ア充-アマルガム充填
・FMC-金属冠	・In-インレー
・Tcon-義歯粘膜調整	・リベ-ス-義歯裏層
・RCT-根管治療	・RCF-根管充填
	・除石-歯石除去
	・EXT-拔牙
	・HJC-プラスチック冠
	・B-ブリッジ
	・PD-部分義歯
	・FD-総義歯

口腔内所見記載例



治療内容記載例

○年○月○日 [6] レ充 および 下顎前歯除石  
 ○年△月△日 [4] 拔牙 拔牙後の諸注意ご家族にしました。

受診	1. 通院	2. 往診	3. 訪問
医療機関名・住所・歯科医師氏名			
初診日 (開始日)		年	月 日
終了日		年	月 日
主訴			
初診時口腔内所見			
① 口腔清掃状態 (良・普通・悪い)			
② 入れ歯の状態 (良・普通・悪い)			
③ むし歯 (有・無)			
④ 歯肉の状態 腫れ (有・無)			
発赤 (有・無) 出血 (有・無)			
⑤ 歯石 (有・無)			
⑥ その他・特記事項			
治療内容			
*以降記載欄不足の時は、口腔ケア欄に記入			



# 退院時栄養サマリー

年 月 日現在

氏名	様		年月日生(歳) 男・女
測定値	身長: cm	体重: kg( / )	
	A.C: cm	T.S.F: cm ( / )	
検査値	WBC	HGB	TC
( / )	TP	Alb	HbA1c %
栄養補給方法	<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 経管栄養 <input type="checkbox"/> 静脈栄養		
栄養補給量	目標栄養補給量	現投与栄養量	
	総カロリー kcal/日 たんぱく質 g/日 脂質 g/日 水分 ml/日	総カロリー kcal/日 たんぱく質 g/日 脂質 g/日 水分 ml/日	総カロリー kcal/日 たんぱく質 g/日 脂質 g/日 水分 ml/日
食事内容	主食	米飯・全粥・7分粥・5分粥・3分粥・粥・パン・toast・その他( )	
	副食	普通量・小盛・中盛・その他( )	
		普通菜・軟菜・7分菜・5分菜・3分菜・汁・その他	
	補助食品等	普通量・ハーフ量・その他( )	
注意点			
その他			

栄養評価2 平成 年

確認日	BMI	HGB	TCHO	TP	BUN	Cre
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

### 3. 地域連携手帳について

- 1 | 以前より使い易くなり、今後も利用していきたいと思っています。
- 2 | いつも利用しています。全体を見ることが出来とても助かっています。
- 3 | 今までの経緯を大変懐かしく聴きました。
- 4 | 医療・福祉(介護)の連携、顔の見える関係の為、共有の書式の重要性を改めて感じました。
- 5 | 色々な話が進んでいるんだなあと感じました。情報があまり入りません。
- 6 | 運用をもっと進めなければと思います。
- 7 | お薬手帳と組み合わせるものになる方が良いと思う。H24年度の改定でお薬手帳を全ての保険薬局で調剤した方には持ってもらうことになり、この要件を充たせばよいので地域連携手帳の1ページに組み込まれても可能と思われる。別にファイルするのはなく、お薬手帳と一体のものとしていけば良いと思われる。
- 8 | 介護保険のサービスでは使用しているが、受診時などに活用されていない気がします。サービス利用時に手帳を渡していますが他の方法で高齢者に配布でき、利用できれば良いと思います。
- 9 | 活用されていない部分はまだまだあり、もったいないと思う。使いづらい部分もある。もっと医療・介護・家族のものとなり情報共有できればと思う。用紙の改善期待しています。
- 10 | 活用に協力したいと思うがなかなかお持ちの方に出会う機会がなく残念。自分から持っているかどうか声がけて関わって生きたいと思います。地域での連携の必要性を切に感じています。
- 11 | 簡易に使い易くなったら良いと思います。
- 12 | 患者さんのこれから診察していく上で、患者さんの事がわかっていいと思うし、患者自身の覚書、Drに患者のことを手帳を見ればわかる。
- 13 | 詳しく見るのが初めてです。私自身運用していることを良く知らなくてすみません。
- 14 | 継続検討されより良い者を作っていると感じました。また、新潟市としても共通診断書の提示があり共通化されてきていると感じました。
- 15 | 検討が行われていて、期待します。
- 16 | 在宅サービスの業種によっては使っていませんが、連携のため、円滑なサービス提供のためひとつ参加してもらえないでしょうか。
- 17 | 実際に今までの取り組みということで具体的な活用方法は今一と思うが、情報共有も考えるとある程度の内容は一冊にまとまっていた方が良く感じる。
- 18 | 実際にどんなものか見たい。
- 19 | 実物を見てみたかったです。
- 20 | 市内で先駆的な取り組みであり素晴らしいと思う。全市に広がることを望みます。
- 21 | 地元でそんな取り組みがあることすら知らなかった。
- 22 | 少しずつ有効に、医師を含めた連携手帳の利用が出来るようになって来ました。ご苦労様です。
- 23 | そのような活動が行われていることを知り、実態が目に見え学ぶことが多かったです。
- 24 | それぞれの現場で使いやすいように見直されており、運用しやすくなっている事が素晴らしいと思う。
- 25 | 第二のカルテ(?)として問診の裏づけとして大変意味のあるものではないでしょうか。地域毎に違った手帳が作られグループ化されないことを願っています。
- 26 | 大変よい事だと思う。
- 27 | 使い方がわからない。
- 28 | 手帳がより連携につながる様、これからも話し合いやアンケートの場を設けていってほしい。
- 29 | 手帳についての情報というのが今日わかって勉強になりました。
- 30 | 手帳の使用率がまだまだ少ない為、実際の現場では役に立っていない場合が多いので使用率を上げるアピールを強したら良いのではないのでしょうか。
- 31 | 手帳を合理的に運用する事で地域住民の健康・生活管理に生かす事も大切だが、今回の石飛先生の講演を聞き、本人・家族が互いに生き方についてコミュニケーションがとれるものになって欲しいと感じた。
- 32 | 手帳を持っている人がわからない。後で実は手帳を持っていると聞かされたことがある。
- 33 | 特養でも現在自分の意思を他の人に伝えられる状態の時に自分の死に方についてご利用者に聞くことは大切と思っています。その際、家族と本人の意見が違う場合があり、きちんとしたものを残せるようにするにはイングリッシュウィルは良いと思った。
- 34 | 特養のため連携手帳に関わることはないですが、情報提供書・診断書は活用したいと思います。
- 35 | 新潟市全体に広めて欲しい。
- 36 | 西蒲区ではまだまだこのような取り組みがなく、情報共有が上手く行っていない。病院と特養との考え方も相反する為上手く行かない事あり、認識も統一出来て1人の人を様々な側面からサポート出来るシステムでとても良いと感じた。
- 37 | 初めて知りました。多分私の周りのスタッフはほとんど知らないと思います。
- 38 | 日々の状態変化を知ることが出来、他サービスへの送付もしやすいが、連携手帳を確認しなかったり、全くコメントなどが記載されていない方が多く、サービス間だけのやり取りになりがちになっていると思う。
- 39 | 広く普及して欲しい。
- 40 | 本人の変化を細かくつけていければ例えば老衰へ向かう時もお話を聞き細かく本人の為の手帳となって言って欲しいと思います。
- 41 | まだ、秋葉区に来たばかりなので利用の仕方が良くわからない。上手に使える、利用者(も支援する側も)はより良い生活が送れると思います。
- 42 | まだ、あまり活用経験がなく、具体的な意見感想がありません。
- 43 | まだ、使い勝手に慣れていない。
- 44 | もっと活用を~そのための宣伝(普及)が必要でしょうか。
- 45 | 薬剤師の立場から言えば、まだまだ連携がとれていないと思います。今後に期待しています。
- 46 | 私どものNPO法人もリビングウィルの明示を会員の方に提示しております。今後の参考にさせていただきます。

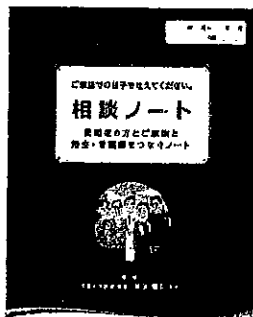
# 「相談ノート」の使い方

**監修** 首都大学東京 教授 繁田雅弘 先生

現在までのところ、認知症には根治的な治療法はなく、その進行をできるだけ遅らせることが治療目標となっています。近年、アルツハイマー型認知症では複数の治療薬が登場し、これまで以上に認知症の方の病状や重症度に合った薬剤選択が可能になってきました。しかし、短い診察時間の中でご本人やご家族に、診療の参考となるようなお話を的確に伺うことはなかなか難しいものです。

「相談ノート」は、主治医の先生がそれぞれの認知症の方の治療評価/選択の参考としていただくために、認知症の方の日常での様子を、ご家族に書き込んでいただくものです。ご家族が家庭での様子を確認し、エピソードなどを記入していただくことで、先生が診察室でご本人の症状やその変化を把握することができ、行っている治療の評価や今後の治療選択の一助となるよう工夫しました。また、ご家族やケアを担う周囲の方々にこのノートを使っていただくことで、認知症治療への関心を高めていただき、治療やケアに積極的にご協力いただくことも期待できます。

認知症治療では、医師だけでなくご家族や周囲の方々が一緒に向き合うことが必要とされます。ぜひ、このノートに書かれている認知症の方のご家庭での様子をご参照いただき、先生方の日常診療にお役立て頂ければ幸いです。



## 「相談ノート」内容

- ① このノートについての説明、使い方
- ② 受診にあたってのメモ  
(診察時に書いてお持ちいただきます：14回分)
- ③ 日々のメモや記録
- ④ 介護についての相談窓口リスト
- ⑤ ご本人のこと

# 受診にあたってのメモ

前回の受診から今までのことについて書きましょう。

年 月 日 ( ) 年 月 日 ( )

最近のご本人の様子について、  
あてはまるものに印☑をつけましょう。

- ささいなことで怒りだす
- 落ち着きが無い、又は機嫌が悪いことが多い
- 徘徊や目的の分からない行動が目立つ
- 夜に眠らず、家の中を動きまわる
- 道に迷うことがある
- 会話がうまくできなくなった
- 着替えがスムーズにできない
- 呼びかけに対して反応しないことがある
- もの忘れがひどい
- 「誰かに物を盗まれた」など、妄想がある
- 気持ちが沈む、あるいは周囲に関心を示さない
- ささいなことを心配したり恐れたりする

できごととして起きた結果だけでなく、どんなときに、  
何がきっかけで、と状況がわかるように書くようにしましょう。

ご本人について、あれ?と思ったことや最近の様子、  
相談したいことを具体的に書きましょう。

①日課や家事について (例: お皿を片づけられる、など)

②身の回りのことについて (例: 自分で着替えができる、など)

③気持ちや感情表現について (例: 落ち着いた様子である、など)

ご家族として、先生に相談したいことがあれば  
書きましょう。